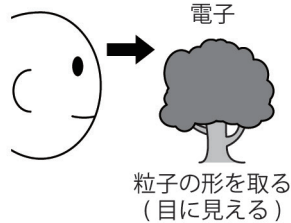




素粒子は粒子という名前がついているけど
ただの粒子じゃないんだ
条件によって波になったりするんだ

量子物理学では
人が観察しているとき、素粒子は粒子の形をしているけど
人が観察していないときは
ぼんやりとした波のような形をすることがわかっているんだ

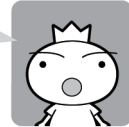
人が観察している時



人が観察していない時

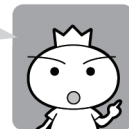


これはすごい発見だね！
人が意識するかしないかで素粒子は変化する
もしそうなら自分の目の前に起きることは 100%自分に
責任があるというような意識のモチカたは
素粒子に多大な影響を与えることになるね



うん、そうなんだ
このような意識のモチカたをすると、素粒子は波になったり
粒子になったり、また波になったりと忙しく変化し続けるんだ

そんなときに
「ありがとう、ごめんなさい、許して下さい、愛しています」
なんていうと、ガン細胞を作っていた素粒子は、粒子の形から、
ぼんやりした波になって消えていってしまう可能性が
高くなるんだね



よーくわかったね！
さすがぼくの潜在意識くん！





素粒子自体は物質だから、あらゆる方向に動く



東西南北、上下左右すべての方向に素粒子は動く
それも個々の素粒子がどっちの方向に行くかは決まってない

え!

もしそうだとしたら、素粒子でできている人間の
体はばらばらになっているはずじゃない



そう、僕もそう思った
でも実際には人の体は、ばらばらどころか誰かが体の中にいて
すべての素粒子を指揮者のようにまとめているようにみえる
すべては理路整然と並び、一糸乱れぬ動きをしているようにみえる

たしかにそうだね…



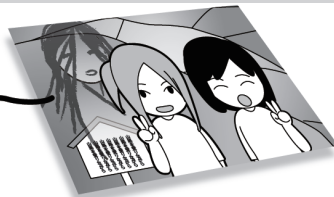
素粒子に何らかの力というか意志が働かない限り
人の形にはならないのではないかと思う
素粒子と素粒子をむすびつけている何か
原子と原子を結びつけている何か
細胞と細胞を結びつけている何かがあるはずだよ

そうでないと人間は
今の形じゃなくて、幽霊みたいなとりとめのないカスミのような
ぼんやりとした形…つまり波になっているはず

幽霊は見たことがないけど心靈写真なんかでは
今、君が言ったような形に写っているよね



ぼや〜





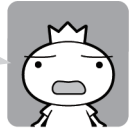
生きているか死んでいるかの違いは
もしかしたら素粒子の結びつきが強いかな弱いかな
なんじゃないのかな
死ぬと素粒子同士の結びつきが極端に弱くなる
そのために生きている人の目には映らない
でも彼らは実際には意識をもって
僕らのすぐそばに存在しているのかもしれない



ぼくの場合、一人でいるとき、よく何かの視線を感じるんだけど
見回すと誰もいないといったことがよくある

ドキ

僕も君と同じような経験があるよ
特に、お盆やお彼岸の時に多いね



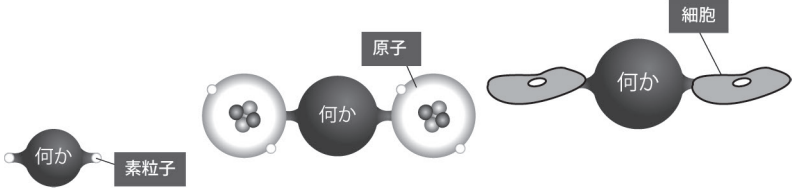
あれ!



いつのまにか幽霊の話になっちゃっていたよ

素粒子に何らかの力という意志が働かない限り
人の形にはならないのではないと思う

素粒子と素粒子をむすびつけている何か、原子と原子を結びつけている何か
細胞と細胞を結びつけている何かがあるはずだね



そうでないと人間は、今の形じゃなくて、
幽霊みたいなとりとめのないカスミのようなぼんやりとした形になるはず



ここだ、ここ!
ここで話がずれたんだ。
もう一度、素粒子の結びつきの話に戻そう



何かの正体とは？



僕は素粒子同士を結びつけているのは意識だと思うよ
それも僕という顕在意識ときみのような潜在意識の両方の力が働いて素粒子同士が結びついて
人体の様々なパーツを創っていると考えている



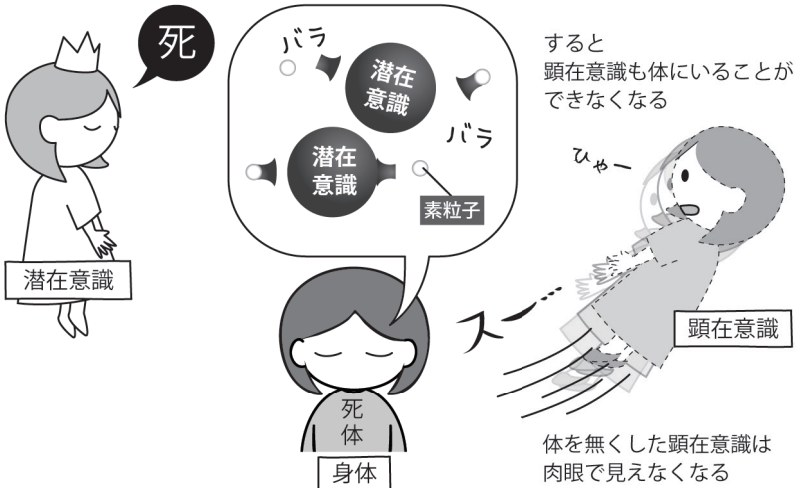
「何か」の正体は「意識」！



特に君のような潜在意識の力は強力だね
潜在意識は何といっても体の主だからね
潜在意識は体そのものといっても
いいかもしれない



潜在意識が死を決意するか、または潜在意識が体を離れることを
決断すると一塊になって体を創っている素粒子は
結びつきがゆるくなってしまう
なんといっても、君の意識が素粒子を結び付けていたんだものね



潜在意識は監視したり管理しているのではなく
常に細胞一つ一つに意識を向けている
一瞬でも潜在意識が細胞や組織に意識を向けるのをやめると
その細胞は崩壊し始めるのさ